

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		介護支援センターながさき デイサービス・ステーションやよい				公表日	令和 7年 4月 29日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		配置基準には適している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用者人数に対して最低基準以上の人員配置をしている。	今後も継続していく	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		通路には手摺を設置している。浴室やトイレ等にも適切な設備を整えている。	今後も継続していく	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃などは、毎日行い心地よく過ごせる環境を整えている。	今後も継続していく	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		相談室や静養室などで個別対応している。	今後も継続していく	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の朝礼、終礼、月1回の部署会議で検討し意見交換している。	今後も継続していく	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の意見を聞く体制は整えている。	今後も継続していく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の朝礼、終礼、月1回の部署会議で検討し意見交換している。	今後も継続していく	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		介護保険での運営指導などは実施されており、また弊社の監査指導室の定期評価は実施している。	今後も継続していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月、部署内で資質向上のために、研修を実施している。また不定期ではあるが、外部講師を招く社内研修なども予定されている。	今後も継続していく	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページ内のブログにて記載している。	今後も継続していく	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		標準的なアセスメントツールを使用し計画を作成している。	今後も継続していく	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		関わる職員への理解等の向上に努めている。	今後も継続していく	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		共有し実施している。	今後も継続していく	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準的なアセスメントツールを使用し計画を作成している。	今後も継続していく	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		必要な支援プログラムを設定している。	今後も継続していく	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月の部署会議等で活動プログラムの見直しを行っている。	今後も継続していく	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎月の部署会議等で活動プログラムの見直しを行っている。	今後も継続していく	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別と集団を組み合わせで作成している。	今後も継続していく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日々の終礼等で話し合いを持ち情報共有している。	今後も継続していく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		日々の終礼等で話し合いを持ち情報共有している。	今後も継続していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用時にはその日の支援内容の記録を行い、職員間で周知している。。	今後も継続していく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度モニタリングを行い、都度職員間で話し合い、計画の見直しを行っている。必要があれば保護者へ説明を行っている。	今後も継続していく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		ガイドラインに沿って、実施するように支援している。	今後も継続していく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自立支援と日常生活の支援をするために利用者に合わせて計画をしている。	今後も継続していく
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者（相談員）が参加している。	今後も継続していく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		現時点では機会が持てていない。今後検討する可能性もある。	人数や日数が少なく取り組めていないが、必要に応じて体制を整える。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校との情報共有は行っていない。	必要があれば今後検討していく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		該当児童がいない	必要があれば今後検討していく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		該当児童がいない	必要があれば今後検討していく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		該当児童がいない	必要があれば今後検討していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		該当児童がいない	必要があれば今後検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		特に取り組んでいない。	必要があれば今後検討していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳を使用し情報共有をしている。	継続して行っていく
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレント・トレーニング等の支援は行っていない。	必要があれば今後検討していく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている	今後も継続していく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		意見を伺う機会を作り随時対応している。	今後も継続していく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画書を基に説明を行っている。	今後も継続していく
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時対応している。	今後も継続していく

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		必要があれば今後検討していく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	苦情受付担当者や苦情解決責任者などの体制を整備し迅速に対応できるようにしている。	今後も継続していく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	毎月の行事や様子をブログ等活用し行っている。	今後も継続していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	十分な配慮を行い実施している。	今後も継続していく
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	意思疎通が図れるように配慮している。	今後も継続していく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	自治会などに参加して、連携を図っている。	今後も継続していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	各種マニュアルを作成し、年間での研修計画を立案、実施している。	今後も継続していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	BCPに必要な研修やマニュアル作成している。	今後も継続していく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○	事前にご家族に確認している。	今後も継続していく
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	対象者がいない。	指示があれば対応している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	防犯対策に関しては、マニュアルの作成し年に1度は研修を行うように計画している。	今後も継続していく
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	家族への連絡帳を作成して対応している。	今後も継続していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	ヒヤリハットや事故報告書は、回覧し再発防止策を作成している。	今後も継続していく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	虐待防止の為に、年に2回研修し全員への周知徹底を行っています。	今後も継続していく
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	身体拘束を実施する際は、身体拘束委員会を設置し実施する規定を設けている。	今後も継続していく	